準用河川恩曽川洪水浸水想定区域図【家屋倒壊等氾濫想定区域図（（氾濫流）（想定最大規模）80分総雨量179.6㎜）】④

1　概要

想定し得る最大規模の降雨があった場合の家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。

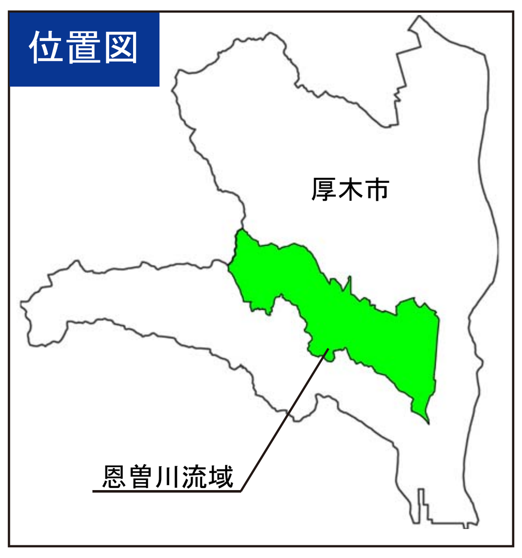
河川が越水することによる住宅地等へ流れ込む氾濫流により、家屋（木造）が倒壊・流出する恐れがある範囲を表した区域の目安を示すものです。

想定最大規模降雨とは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」より算出し、80分の総雨量として179.6㎜の雨が降ることを想定しております。

2　基本事項

（1）作　成　　平成29年5月

（2）対象となる河川　準用河川恩曽川　上流端：市道川との合流点　下流端：玉川との合流点

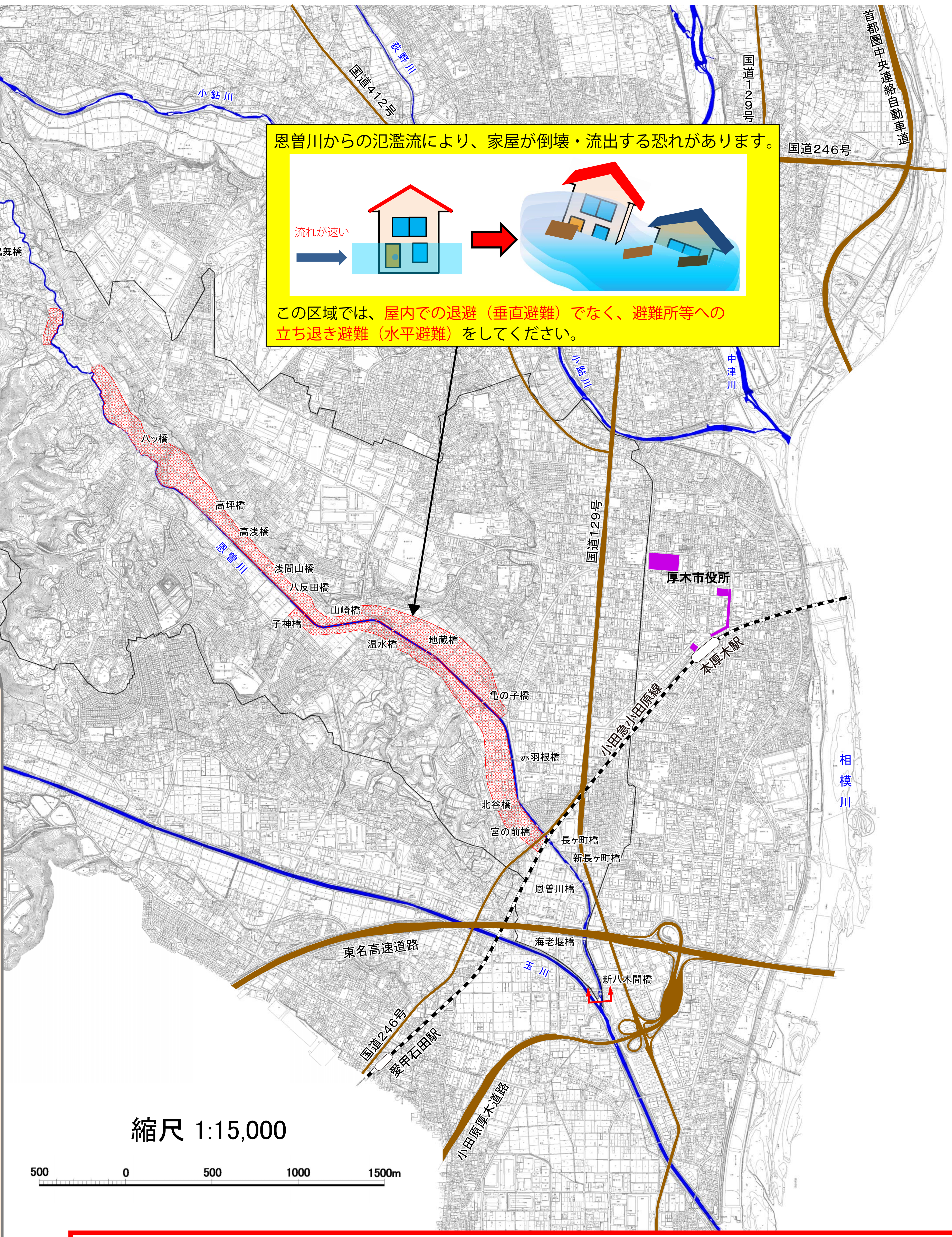


凡　例

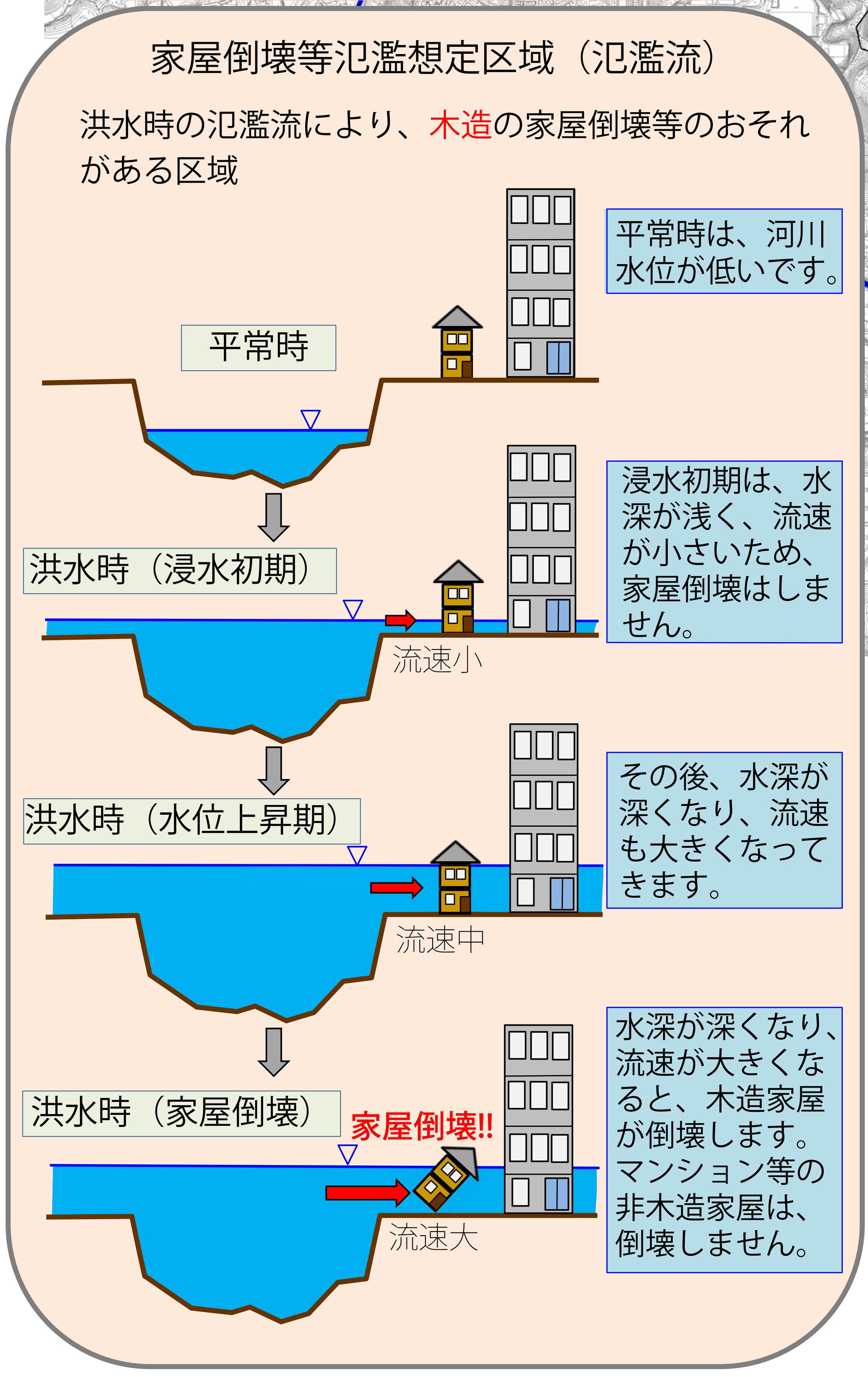
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
- 準用河川区間
- 流域界

凡　例

- 大規模地下施設



実際の洪水では想定どおりの浸水になるとは限りません。色がついていないところでも浸水の可能性があります。周囲の状況に注意して行動しましょう。



気象情報や周りの状況などに注意して、浸水する前に早めに行動してください。浸水した後の避難は大変危険です。ご自宅の造り（木造・非木造）やお住まいの階数、ご自宅の位置と浸水の程度を確認して行動してください。

ご自分の地域やご自宅付近で、どの程度の家屋倒壊等の恐れのある区域か、この洪水浸水想定区域図で確認してください。